

# 佐賀県

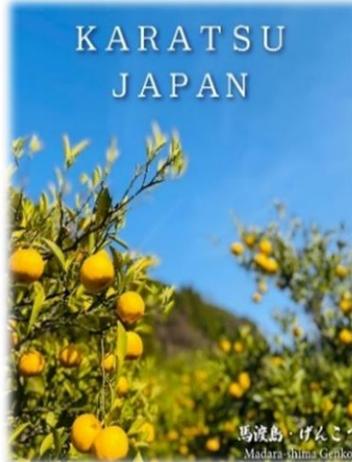
## 団体部門

みらい じっこういいんかい  
未来ギフト実行委員会

## 地域の未来をデザインする、“未来ギフト”



(ゲンコウをさまざまな商品に開発・販売)



(地元食材を買って食べて応援！唐津応援弁当)

## 取組概要

- 地域の生産者を支援するため「からつ応援市場」の開催、唐津の食材を使った「唐津応援弁当」の製造販売など、イベント・商品開発、情報発信に取り組む。
- 唐津西高(校長・生徒会)との連携協定を締結。市内馬渡島に3本だけ自生する柑橘「ゲンコウ」を活用した同校主体の馬渡島ゲンコウ復活PJではポン酢、パン、缶パフェ、スカッシュ等の商品を開発し収益を計上。

## 活動成果

- ゲンコウPJにおける生徒と島民・農家をつなぐ取組を一例として、未来ギフトが関係者や専門家をつなぐパイプ役として機能することで、新商品開発や地域農水産物の高付加価値化につながっている。
- からつ応援市場は消費者の声を聴く場としても機能。学びながらコミュニティをつくることを大切に、現在は小学校とも連携をとり、地域活性化につながっている

たくみらい  
多久未来プロジェクト

多久市を元気に、市民が笑顔になるために！



(フルーティーで甘口の大吟醸「多久」)



(構成員による農作業の支援、酒蔵での仕込みの作業)

### 取組概要

- 地域の未来を良くしたいと地元農家、蔵元杜氏、料理長など様々な業種のメンバー18人が集い、H30年にプロジェクトを発足。
- 多久市唯一の酒蔵である東鶴酒造とタッグを組み純米大吟醸を製造販売。収益を活用し、地域の産業に対する支援や、地域を盛り上げるイベントなどを企画運営。
- 市立図書館の記念行事や公益財団法人にも協力。市の盛上げに寄与。

### 活動成果

- 純米大吟醸作り等の事業資金は、協賛するサポーターから1口5,000円で寄付を募り、170人を超える支援により事業を実施。
- 銘柄の募集や米の収穫、ラベル貼りなどの体験イベントでサポーターを拡大。
- 日本酒の製造販売の他、多久山笠・花火大会のライブ配信等、イベントや企画などで、多久市を盛り上げる活動を実施。

## 個人部門

まつもと りえ  
松本 理絵

## 色落ち海苔は輝くゴールド！



(有明海産の自家養殖のりを手に笑顔満面の松本氏)



(道の駅にならぶ商品と観光列車向け販売風景)

## 取組概要

- のり養殖では海苔が黒くならない「色落ち」が長年の課題。「色落ち海苔」は満足な値が付かないため廃棄されてきた現状。
- 「色落ち海苔」を使った化粧品、菓子、総菜などの新商品開発に取組み廃棄量縮減を目指す。
- のり養殖や廃棄の現状を伝える食育活動として、幼保・小学校や催事での「手づくりふりかけ教室」を開催。

## 活動成果

- 自社海苔の廃棄量は年間770kgから約3割の削減。
- R3年度の取組開始以降、7商品の新商品開発に成功。R10年までの廃棄量ゼロを目指す。
- 消費者からは「美味しい」「廃棄はもったいない」との反応もあり、取組は着実に広がっている。

## 団体部門

かぶしきがいしゃ  
そのもの株式会社

## 地域貢献する進化系納豆で海外需要をつかめ



（江北町及び地元農家と連携協定を締結し、町民の健康増進を後押し）



（海外市場で国産品の価値を高める商品として、クールジャパン・プラットフォームアワード優秀賞を受賞）

## 取組概要

- 町や地元生産者と連携し、地域特産の大豆を使用した納豆加工品を開発。一部に苦手な方もある納豆の発酵臭やネバつきを解消し、手軽さ、健康効果を進化させた「そのもの納豆菌」シリーズを商品化。
- 自社製品の健康効果を科学的に証明する研究に取組み、栄養素や機能性食品が専門分野である国際学術誌「Nutrients」に査読付き論文が掲載された。

## 活動成果

- 新聞のほかNHKの国内・海外放送でも紹介。内閣府のアワード優秀賞や、民間のウェルネスフードアワードでも金賞を受賞
- 米国Amazon JAPAN STOREランキングのビューティ部門1位、2位を独占するなど海外でも評価。
- 江北町民の腸内細菌叢において、ビフィズス菌が日本人平均の2倍という研究成果が判明。食習慣などとの研究を進め、地域活性化とともに、全国に有用なPJに育てていきたい。

## 団体部門

べりーぼたん  
bellybutton

## こうほくふうどを守る・育てる・発信する



(大学生・高校生が運営を担ったマルシェの取組)



(農業体験の受入れのため池を利用したカヌー体験)

## 取組概要

- 二つの「ふうど(Foodと風土)」をテーマに、ふうどを守り育てるとともに、子供たちに伝え、地元への愛着を育む取組として、若手農業者により実施。
- 子供達向けには米飯試食、小学生向けキャンプ、中学生向け農家体験、高大生によるマルシェの運営など世代に応じた取組を企画。
- 飲食店とのコラボ弁当屋、フリーペーパーの作成にも取組む。

## 活動成果

- 地域者や消費者との連携に取り組むことで消費者理解を深めるとともに農業生産者としてのモチベーション向上にも寄与。
- 毎年開催するフードフェスは伝統芸能や地域文化に関する情報発信や交流にも貢献。
- 生産者費用が高騰するなか、価格店が難しいという農業の課題解決にもつなげていきたい。